

| | | | |
|--|-------------------------|--------|-----------|
| 開講年度・学期 | 2017年度・後期 | 授業形態 | 演習 |
| 科目名 | 専門演習（ドイツ法特別2） | 科目ナンバー | JASEM3304 |
| 英語表記 | Seminar on German Law 2 | 担当教員 | 守矢 健一 |
| 単位数 | 2 | | |
| 科目の主題 | | | |
| 法学政治学の基礎的諸問題（その12） | | | |
| 授業の到達目標 | | | |
| 学問的営為に目標を定めるのは目標によって学問的営為の可能性を限定づけることを理解すること。 | | | |
| 授業内容・授業計画 | | | |
| <p><i>Pico della Mirandola, Oratio de hominis dignitate</i>（「人間の尊厳について」）を読む。ピーコ・デッラ・ミランドラ（1463-1494）は人文主義の哲学者である。上記のテキストの分量は比較的少ないが、本書を精読し、近代における人間像について多角的に考察する。</p> <p>担当教員はラテン語の原典に取り組んでみたいが、邦語訳も存在するから演習参加者は利用していただいてもよい。演習参加者が、意欲に応じて、英語（またできれば独仏伊など）の翻訳を参照していただけるとおもしろいかもしれない。いずれにしても、いたずらに先を急がず、熟読し、討論することに主眼がある。</p> | | | |
| 事前・事後学習の内容 | | | |
| 事前にテキストを入念に読むこと。事後にも、テキストを入念に読み直すこと。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 参加者の準備の入念さの度合い、討論における立論の緻密さ、大胆さ、柔軟さ、速度、奔放さといったもの、論証の緻密さなどを、総合的に勘案して評価する。 | | | |
| 受講生へのコメント | | | |
| 後期のみの特演習。知的好奇心に満ちた学生を歓迎する。なお、本演習は、意欲ある二回生にも門戸を開放している（枠外単位。従って、履修可能最低年次が3年次生以上であることと矛盾しない）。詳細は便覧を参照いただきたい。 | | | |
| 教材 | | | |
| <i>Pico della Mirandola, Oratio de hominis dignitate</i> | | | |
| その他 | | | |
| 履修可能最低年次 | | | |
| 3年次生以上 | | | |